



2024年4月12日

各 位

株式会社 Olympicグループ

代表者名 代表取締役社長 大 下 内 徹

(URL <https://www.olympic-corp.co.jp/>)

(コード番号 : 8289 東証スタンダード)

問合せ先 取締役総務部長 木 村 芳 夫

(TEL 042-300-7200)

減損損失の計上および業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2024年2月期（2023年3月1日～2024年2月29日）におきまして、減損損失を計上し、また通期連結決算につきまして、2024年1月12日に公表した業績予想と本日公表した実績との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上

当社グループの有形固定資産の一部について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき将来の回収可能性を慎重に検討した結果、減損損失637百万円を特別損失として計上いたしました。

2. 2024年2月期通期連結業績予想数値と実績値との差異（2023年3月1日～2024年2月29日）

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 92,000	百万円 500	百万円 300	百万円 200	円 銭 8.71
実績(B)	90,937	190	51	△477	△20.79
増減額(B-A)	△1,063	△310	△249	△677	
増減率(%)	△1.2	△62.0	△83.0	—	
(ご参考)前期実績 (2023年2月期)	91,983	315	156	108	4.73

3. 差異の理由

2024年2月期においては、資源価格や原材料価格の高止まりによる消費者の節約志向の高まりなどの影響もあり、売上高が計画を下回り営業収益の達成に至りませんでした。

一方で、販売費及び一般管理費の削減努力を継続したことにより、コスト削減は計画を上回る成果となりましたが、収入の減少をカバーできなかったため、営業利益、経常利益が予想を下回りました。

また、減損損失を計上いたしましたこともあり、親会社株主に帰属する当期純利益についても予想を下回りました。

以上